

## 香川県におけるマクラギヤスデの初記録

角田啓斗<sup>1</sup>・有村拓真<sup>1</sup>・鹿島 稜<sup>2</sup>・中島妙子<sup>1</sup>・豊田賢治<sup>1,2,3,4</sup>

<sup>1</sup> 広島大学大学院統合生命科学研究科

<sup>2</sup> 広島大学生物生産学部生物生産学科

<sup>3</sup> 東京理科大学先進工学部生命システム工学科

<sup>4</sup> 神奈川大学理学部理学科



写真1 *Niponia nodulosa* マクラギヤスデ 成体♂ (NMCI-AR 1179)

### 種の記録

Cryptodesmidae シロハダヤスデ科

*Niponia nodulosa* Verhoeff, 1931

マクラギヤスデ (写真 1)

標本 のと海洋ふれあいセンター節足動物標本 (NMCI-AR) 1179, 成体 (8 齢) ♂ 1 個体, 体長 16.7 mm, 体幅 3.9mm. 幼体 (7 齢) 5 個体, 体長 10.6–12.7mm, 体幅 2.6–3.0mm. 幼体 (6 齢) 4 個体, 体長 7.2–7.8mm, 体幅 1.7–1.8mm. 香川県坂出市府中町 (34.2746372N, 133.9225260E), 2026 年 4 月 1 日, 徒手, 角田啓斗・有村拓真・鹿島 稜・中島妙子・豊田賢治採集.

### 種の特徴

成体の体長は 16.7mm, 体長は体幅の 4.3 倍, 生殖肢は野球のグラブ状, といった形態形質から, 栗原 (2022) に従いマクラギヤスデに同定された.

### 備考

検討標本は倒木の下から得られた. 本種は国内において, 北海道から琉球列島にかけて広く分布する一方, 埼玉県以北および愛媛県は外来分布であると考えられている (栗原, 2022). 四国地方では徳島県, 愛媛県, 高知県から記録がある (角田ほか,

2026). これまで香川県からの記録はなく, 本報により新たに香川県に分布することが確認された.

### 謝辞

栗原良輔氏には本種に関して有益な情報をいただいた. のと海洋ふれあいセンターの中出悠介氏には標本登録の際にお世話になった. ここに厚く御礼申し上げる.

### 引用文献

栗原良輔. 2022. マクラギヤスデ概説. 豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書, (14):57–68.

角田啓斗・千代田創真・八尾晃史・豊田賢治・栗原良輔. 2026. マクラギヤスデ *Niponia nodulosa* の山梨県, 新潟県, 石川県, 広島県, 福岡県, 佐賀県および伊豆諸島新島における初記録ならびに既知記録の整理. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (31):89–98.

(2026 年 4 月 2 日受付, 2026 年 4 月 23 日公開)

連絡先: 角田啓斗 (e-mail: ktsunoda@alumni.tus.ac.jp) (Keito Tsunoda, Takuma Arimura, Ryo Kashima, Taeko Nakajima and Kenji Toyota. 2026. First record of *Niponia nodulosa* (Diplopoda: Cryptodesmidae) from Kagawa Prefecture, Japan. NS Fieldnote, 26013)